

MAX

取扱説明書

プロ用

このたびは、マックス充電式防じん兼用丸のこをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

▲ 警告

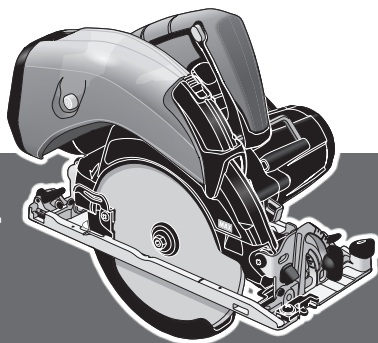
●使用前に必ず取扱説明書を読む。

この取扱説明書は常時内容が確認できるように保管してください。

本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

マックス 充電式防じん兼用丸のこ

PJ-CS61CDP

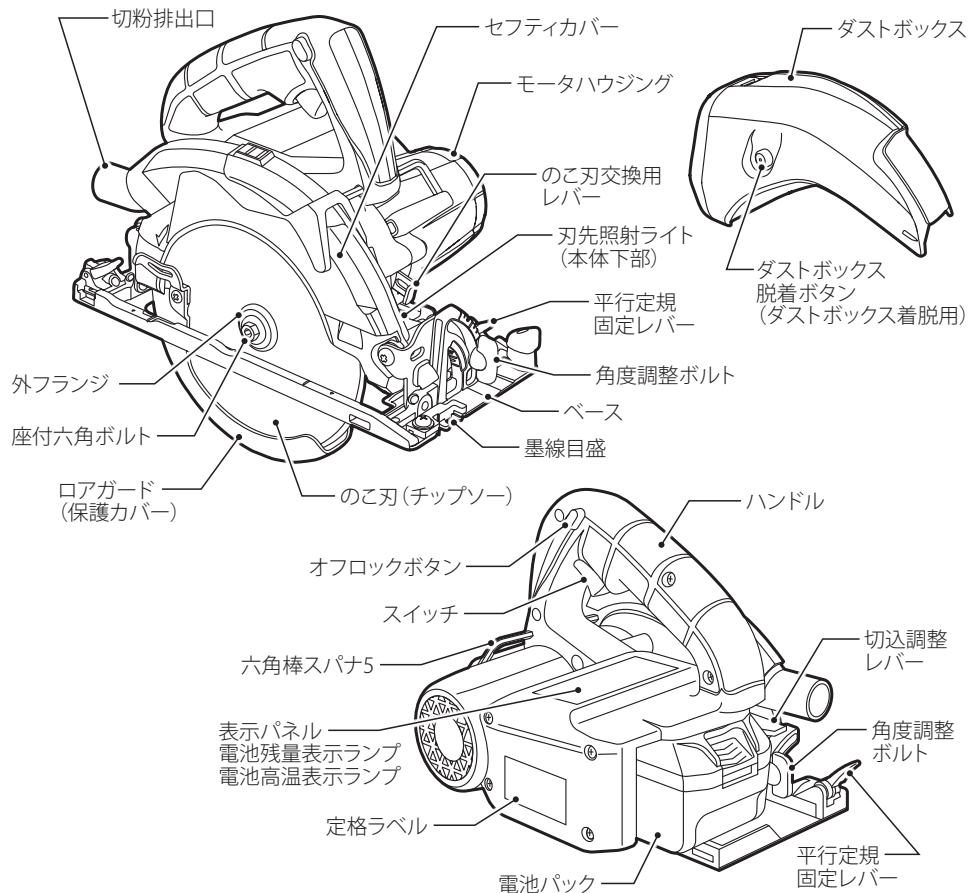


目 次

各部の名称	3
安全作業のために	4
安全上のご注意	5
充電式防じん兼用丸のこの安全上のご注意	11
仕様および付属品	14
電池パックと充電器の使い方	16
使用前の準備・点検	24
使用前の準備	24
のこ刃（チップソー）の取り付け、取り外し方	25
使用前の点検	28
使用方法	31
電池パックの取付け、取外し方	31
通常丸のことしての使い方（ダストボックスの取り外し）	32
防じん丸のことしての使い方（ダストボックスの取り付け）	33
刃先照射ライトについて	34
表示パネルについて	35
切断作業について	37
切粉の捨て方（防じん丸のこで使用した場合）	46
集じん機（市販品）に接続する使い方	47
各種調整方法について	48
作業中、本機が急に停止したら	52
別売品について	53
ソーガイドフェンス（一本足平行定規）	53
ベースシート	54
保守・点検	56
保証、アフターサービスについて	59

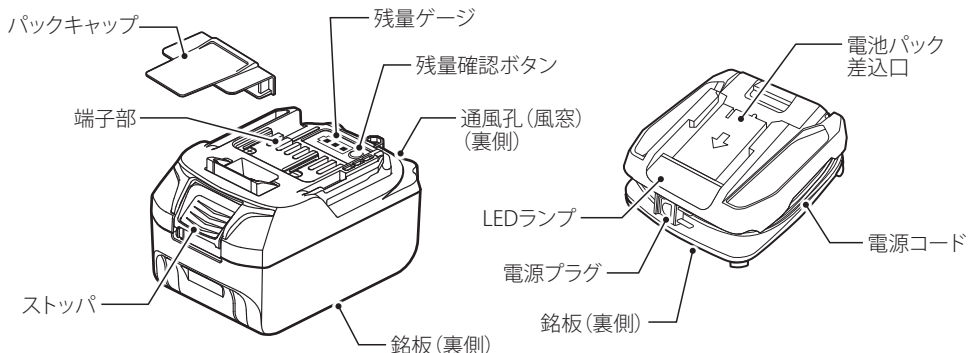
各部の名称

〈本体〉



リチウムイオン電池パック (JP-L91850A)

リチウムイオン充電器 (JC-925A)



⚠ 安全作業のために

本機は、木材・構造用合板等の木質材の切断を目的とした工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**⚠ 警告**、**⚠ 注意**、**ご注意** に区分してありますが、それぞれ次の意味を表します。



警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

ご注意

製品、付属品の取扱い及びメンテナンスなどに関する重要なお注意。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 警告

安全作業のために、使用前に取扱説明書を必ず読む。

専用の充電器や電池パックを使用する。

- ・ 指定以外の充電器で電池パックを充電しないでください。
- ・ 指定した電池パック以外は充電しないでください。
指定以外の充電器で充電することは、充電できないばかりか、破損したり、発火・発熱のおそれがあります。

正しく充電する。

- ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
昇圧器などのトランス類、直流電源や、マッチング確認済みの発電機以外では使用しないでください。
充電器の故障の原因や異常発熱により火災のおそれがあります。

<マッチング確認済み機種>

メーカー名	分類名	機種名	定格出力	定格電圧	定格電流
株式会社やまびこ (新ダイワ)	インバータ 発電機	IEG2800M	2.8KVA	単相 100V	28A
		IEG2801M	2.8KVA	単相 100V	28A

- ・ 温度が5℃未満、または温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。
- ・ 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。
- ・ 電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
破裂や火災のおそれがあります。
- ・ 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災のおそれがあります。
- ・ 充電器の通風孔や電池パック装着口に異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。

電池パックの端子間を短絡(ショート)させない。

電池パックの端子に金属を接触させたり、釘など金属が入った工具箱や釘袋などに入れたり、雨や水に濡らしたりすると、短絡(ショート)して発煙・発火・破裂などのおそれがあります。

濡れた手で充電器の電源プラグに触れない。

感電のおそれがあります。

電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことをしない。

- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- ・ 雨や水に濡らさないでください。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 警告

ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しない。

爆発や火災のおそれがあります。

火災のおそれがありますので次のことをしない。

- ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では、充電しないでください。
- ・ 通風孔（風窓）のある充電器は、充電中に通風孔をふさがないでください。また通風孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
- ・ 綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。

充電器は充電以外の用途に使用しない。

電池パックを使用しない時は、必ずパックキャップをかぶせる。

電池パックは、電池パックと充電器の使い方に従って正しく使用する。

作業場の周囲状況も考慮する。

- ・ 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故のおそれがあります。
- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。

使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。飛散する切り粉や粉塵などが目や鼻に入る恐れがあります。

保護具を着用する。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）など防音保護具を着用してください。
- ・ 作業時はヘルメット、安全靴などを着用してください。

加工するものをしっかりと固定する。

加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してしてください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 警告

次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜く。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・本機の調整をする場合。
- ・刃物、ビット、ソケットなどの付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。
不意に充電工具が作動して、事故やけがの原因になります。

不意な始動は避ける。

- ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
不意に充電工具が作動して、事故の原因になります。

指定の付属品やアタッチメントを使用する。

この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因になります。

電池パックを火中に投入しない。

破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

電池パックの液が漏れた時は、素手で液をさわらず、以下の処置をする。

- ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
- ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
- ・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。
すぐに販売店にご相談ください。

使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しない。

充電中、発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電を中止する。

そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

異常を感じたら絶対に使用しない。

スイッチが入らない、回転が止まらない、本機が高温になる等、作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復の為に充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。そのまま使用を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 注意

作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

子供を近づけないでください。

- ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。

使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- ・ 充電工具や電池パックを温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

無理して使用しないでください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- ・ モータがロックするような無理な使い方はしないでください。

作業に合った充電工具を使用してください。

- ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
- ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- ・ 充電工具の最大能力を超えた作業はしないでください。
けがの原因になります。

きちんとした服装で作業してください。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 注意

充電工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。けがの原因になります。

充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のものがたつ所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。付けたままですと、作業時に外れてけがの原因になります。

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。軽率な行動や非常識な行動などすると事故やけがの原因になります。

⚠ 安全上のご注意

⚠ 注意

損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。
- ・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて、充電を中止してください。

- ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

充電工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・サービスマン以外の人は、充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ・充電工具、充電器、電池パックが熱くなったり、異常に気付いた時は、マックスエンジニアリングサービス㈱へお買い求めの販売店様を通じて点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理、メンテナンス、調整は、純正部品以外は使用しないでください。
- ・修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないばかりでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・騒音防止規制について

騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があり、規制値以下でご使用になる必要があります。状況に応じて遮音壁を設けるなどしてご使用ください。

⚠ 充電式防じん兼用丸のこの安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式防じん兼用丸のこのこととして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定しない、取り外さない。また、円滑に動くことを確認する。

のこ刃が露出したままですとけがの原因になります。

指定のこ刃（チップソー）を必ず使用する。

指定されたのこ刃と異なる物を使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定ののこ刃をご使用ください。

※指定のこ刃は当社カタログを参照してください。

のこ刃は、定格ラベルに表示してある範囲内ののこ刃を使用する。また、刃底径が160mm未満ののこ刃は使用しない。

ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがの原因になります。

必ずダストボックスを取付けた状態、またはダストボックスカバーを所定の位置に取付けた状態で作業する。

切粉の飛散により、けがのおそれがあります。

切断する材料は、安定性のよい台に置いて作業する。

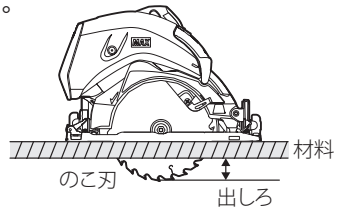
台が不安定ですと、けがの原因になります。

切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設ける。

のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。

材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設ける。また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にする。

このような台がないと、けがの原因になります。



使用中は、本機を確実に保持する。

確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。

使用中は、のこ刃や回転部、切りくずの排出部へ手や顔などを近づけない。

けがの原因になります。

切断途中で、のこ刃を回転させたまま本機を戻さない。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本機を持ち上げるようにする。

回転させたまま本機を戻したり、持ち上げると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

⚠ 充電式防じん兼用丸のこの安全上のご注意

⚠ 警告

本機を万力などで保持した使い方はしない。

不意の接触などで、けがの原因になります。

使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店を通じてマックスエンジニアリングサービス(株)へ点検・修理を依頼する。

そのまま使用していると、けがの原因になります。

誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

ライトは切断作業時だけ点灯する。

切断作業以外に点灯すると、不用意にモータが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。

高所作業の時には下に人がいないことをよく確認する。

材料や本機を落したときなど、事故の原因になります。

密閉された狭い場所で使用しない。

発煙、発火、破裂のおそれがあります。

大切に扱う。

落としたり、ぶつけたりしますと故障の原因となります。

本機を収納保管する。

作業終了時、または使用しない時は、必ず本機のスイッチを切り、本体より電池パックを外してください。そしてソフトバッグに本体を収納し、電池パックは短絡(ショート)防止のバックキャップをかぶせて収納してください。

乾燥した涼しいところに保管する。

本機及び電池パックを保管する際は、周囲温度が50度以上にならず、直射日光の当たらない乾燥した風通しの良いところに保管してください。保管が長期(1ヶ月以上)にわたる場合は、周囲温度が30度未満の冷暗所に保管してください。また保管場所は子供の手の届かない高い所や鍵の掛かったところにしてください。

本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、工具は摩耗、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリスが付かないようにしてください。

本機は乾いたやわらかい布で拭く。

濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

⚠ 充電式防じん兼用丸のこの安全上のご注意

⚠ 注意

のこ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

確実に取付けていないと、外れたりし、けがの原因になります。

のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

のこ刃が破損し、けがの原因になります。

使用中は、軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。

回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

作業前に、周囲の安全を確認し、人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ、本機の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。

異常があると、思わぬ動きをして、けがの原因になります。

ブレーキが働くときの反発力に注意してください。

本機を落としたり、けがの原因になります。

切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。

強い反発力が生じ、けがの原因になります。

材料に釘などの異物がないことを確認してください。

刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

電池パックを装着する際、本体および電池パックの端子部に異物がないことを確認してください。

異物があつた場合にはエアダスタ等で除去してから装着してください。

切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。

手を切るおそれがあります。

回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

回転するのこ刃で、電源コードを切断しないよう注意してください。

感電のおそれがあります。

作業直後の刃物類(のこ刃など)・切りくず・電池パック端子部は高温になっているので触れないでください。

やけどの原因になります。

精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。

動作不良、誤作動等をおこす原因になります。

切断砥石は使用しないでください。

仕様および付属品

〈本体〉

商 品 名	マックス 充電式防じん兼用丸のこ
商 品 記 号	PJ-CS61CDP
寸 法	全長 287mm × 幅 204mm × 高さ 264mm
質 量	3.2kg (JP-L91850A装着時) ※のこ刃、ダストボックス、六角棒スパナ未装着時
電 池 電 圧	18V
使用可能のこ刃外径	外径 160~165mm (穴径 20mm)
付 属 の こ 刃 寸 法	外径 165mm 刃数 52P 刃厚 1.5mm 穴径 20mm
最大切込み深さ	90° 時:66mm 右45° 時:44mm 左5° 時:61mm
傾 斜 切 断	右 45° ~左 5°
無 負 荷 回 転 数	4,100min ⁻¹ (4,100回転/分)
モ ー タ	DCブラシレスモータ

〈電池パック〉

商 品 名	マックス リチウムイオン電池パック
商 品 記 号	JP-L91850A
電 池 種 類	リチウムイオン電池
公 称 電 圧	18V
公称容量 (定格容量)	5.0Ah (4.9Ah)
付 属 品	パックキャップ [短絡 (ショート) 防止用]
質 量	0.6kg

〈充電器〉

商 品 名	マックス リチウムイオン 充電器
商 品 記 号	JC-925A
電 源 (入 力)	AC100V 50/60Hz 250VA
充 電 時 間 (周 囲 温 度 2 5 ℃ 時) (JP - L 9 1 8 5 0 A 充 電 時)	実用充電 (容量の約80%) 65分 満充電 (容量の約100%) 80分
質 量	0.7kg
使 用 温 度 範 囲	5℃~40℃

※上記仕様は改良のため、主要機能および形状などが変更されることがありますのでご了承ください。

〈主な用途〉

各種木質材（木材・構造用合板等）の切断

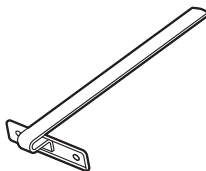

※材料の材質特性、厚み、硬さの組み合わせによってはモータがロックする場合があります。

その場合は、強く押し付けず、適度な押し付けで作業を行ってください。

〈付属品〉

	PJ-CS61CDP-BC/1850A	PJ-CS61CDP-B/1850A	PJ-CS61CDP
電池パック	○ (JP-L91850A:1個)	○ (JP-L91850A:1個)	—
充電器	○ (JC-925A:1個)	—	—
165mmのこ刃 (チップソー)	○ (CS-165W52S:1枚)	○ (CS-165W52S:1枚)	○ (CS-165W52S:1枚)
六角棒スパナ5	○ (本体装着)	○ (本体装着)	○ (本体装着)
取扱説明書	○	○	○
保証書	○	○	○
ソフトバッグ(台含む)	○	○	○

〈オプション品（別売）〉

部品コード	PJ11760	PJ15870
部品名	ソーガイドフェンス (一本足平行定規)	ベースシート
		

※上記仕様は改良のため、主要機能および形状などに変更されることがありますのでご了承ください。

※詳しくは、お買い上げの販売店または裏表紙掲載の当社営業拠点へお問い合わせください。

ご注意

- マックスリチウムイオン電池パック JP-L91440A、JP-L91430A、JP-L914は取付可能ですが、本製品仕様の能力は出ませんのでご注意ください。

電池パックと充電器の使い方

⚠ 警告

- 指定電圧で充電する。
必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。
- 昇圧器などのトランス類、直流電源や指定以外の発電機では使用しない。
故障の原因となるだけでなく異常に発熱し、火災のおそれがあります。
- 正常なコンセントを使う。
充電器の電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと加熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

充電方法

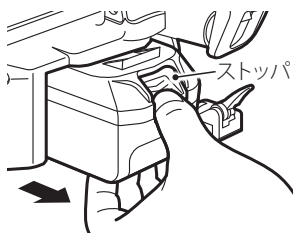
お買い上げ時の電池パックについて
お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

⚠ 警告

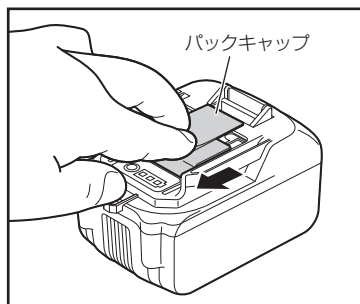
- お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていませんが、工具に取付け、スイッチ操作すると作動するおそれがあるので注意する。
- 電池パックを工具に取付け、取外しをするときは、スイッチをOFFにした状態で行う。

一度使用されて電池パックを工具に取付けている場合

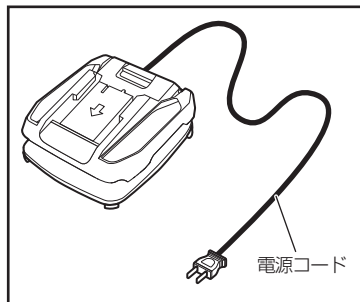
工具より電池パックを取外します。正面にあるストップを押し下げて、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取外してください。

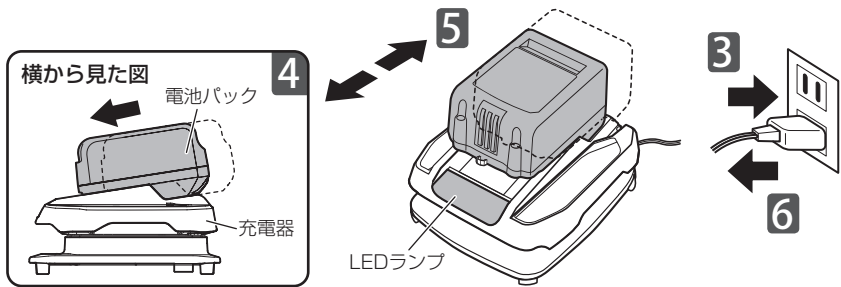


- 1 電池パックの端子部にかぶせてある短絡（ショート）防止用のパックキャップを外してください。

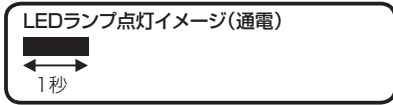


- 2 充電器に巻いてある電源コードを丁寧に伸ばしてください。





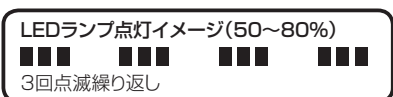
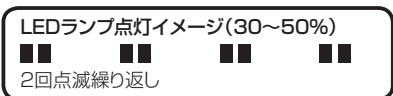
3 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。LEDランプが1秒間点灯し、通電状態をお知らせします。



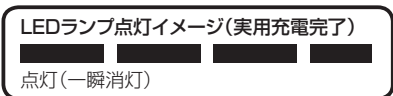
4 電池パックを充電してください。

①電池パックを充電器の電池パック装着口の奥にあたりカチッというまでしっかりとスライドさせます。このとき、電池パックのストッパが充電器にしっかり掛かっていることを確認してください。

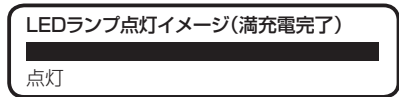
②電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。充電を開始すると、充電済みの容量に応じてLEDランプが下の3パターンで点滅します。



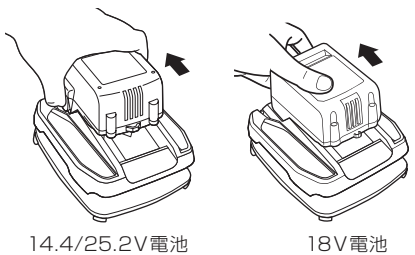
③LEDランプが下の表示に変わったら実用充電完了です。この状態で電池パックの容量の約80%充電されています。(充電時間・充電容量は、気温や電源電圧により多少変動します。)



実用充電が完了したら使用できますが、そのまま電池パックを抜かないでくと、残りの容量を充電し続け、LEDランプが点灯になれば満充電完了(容量の約100%)です。



5 充電が完了したら、ストッパを押しながら電池パックを充電器から抜き取ってください。



6 電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

⑧の「温度待機中」が表示された場合

電池パックが高温の場合

電池パックが熱を持っているとき(例: 工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たるところに長時間放置した後など)は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。使用しないで放置したり日陰に置くなどして電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

電池パックが低温の場合

電池パックが低温(5℃未満)の場合、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が上がるまで充電を自動的に待機します。電池パックを室内など常温の場所に置くなどして電池パックの温度が上がると、自動的に充電がスタートします。

⑨の「充電エラー」が表示された場合

充電できない状態です。

- ・この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜き、電池パック・充電器の端子部に異物が入っていないか、また濡れていないか確認してください。もし異物が入っていたり濡れていたりした場合には、柔らかい布等でふき取ってください。
- ・LEDランプが点滅し続けるときは、電池パックの寿命であるか、もしくは電池パックが充電器に異常があると考えられます。別に電池パックをお持ちの方は、電池パックを変えてお試しください。
- ・それでもLEDランプが点滅する場合は、すぐに使用を中止してください。決してご自分で修理なさらないで、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

電池パックをセットしても③～⑨の表示にならない場合

電源電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、充電器保護のために充電できません(LEDランプも点灯しません)。電源状態をご確認いただき、コンセントに直接つないだり、発電機の使用をやめる等して、電源状態を改善してください。

その他の注意事項

- ・満充電した電池パックを再度充電器にセットすると再び③～⑥の表示になることがありますが、故障ではありません。しばらくすると、満充電完了の⑦の表示になります。
- ・充電時間は周囲温度や電池パックの状態により長くなることがあります。
- ・電池パックを連続で充電される場合は、充電時間が長くなる場合があります。
- ・一度充電が完了した後、次の充電まで充電器を5分以上休ませてください。

充電時の故障について

次のような状態のときは、充電器または電池パックに故障があると考えられますので、決してご自分で修理なさらないで、電池パック・充電器両方を一緒に、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、お買い求めの販売店を通じて点検・修理をお申し付けください。

- ・ 充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んで、「充電器通電」の表示にならない。
- ・ 電池パックをセットしても、充電を開始しない。
- ・ 「温度待機中」の表示後、温度環境を改善して1時間以上たっても充電を開始しない。
- ・ 充電を開始して4時間以上経過しても「実用充電完了」または「満充電完了」に切り替わらない。

壁掛けについて

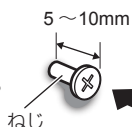
本機は壁に掛けて使用することができます。

⚠ 注意

本機や電池パックの落下を防ぐために、以下を必ず守る。

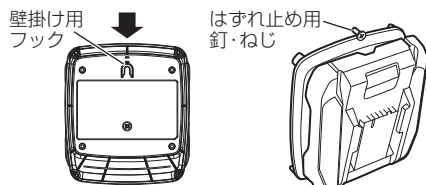
- ・ 壁掛け用のねじ・釘は、抜けたり曲がったりしないよう注意してください。柔らかい部材や不安定な部材に留め付けたり、細すぎるねじ・釘を使用すると、本機が落下しけがや事故の原因となります。
- ・ 本体のはずれ止め用に、掛け部とは別にもう1本のねじ・釘を使用してください。
- ・ はずれ止め用ねじ・釘を取付ける場合、電源コードに傷をつけないよう注意してください。
- ・ 電池パックはロックされるまでしっかりとセットしてください。
- ・ 電池パックの抜き差しは、必ず両手で行ってください。
- ・ 電源コードを引っ掛けないように注意して配線してください。

- 1** 掛ける部材にねじ・釘を5~10mm程度浮かせて留めつけてください。



使用釘・ねじ	長さ
N・CN釘	65~90mm
コーススレッドねじ	41~90mm

- 2** 留め付けた釘・ねじに、本体裏側の壁掛け用フックを掛け、その後にはずれ止め用の釘・ねじを追加して留め付けます。



- 3** 電池パックのセット時には必ず電池パックのストッパがロックされるまでしっかり奥まで差込んでください。また抜き差しは必ず両手で行ってください。



電源コードの巻き付け収納について

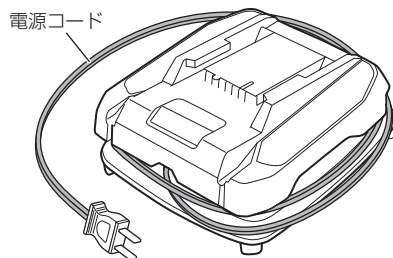
本機は電源コードを本体に巻きつけて保管することができます。

⚠ 注意

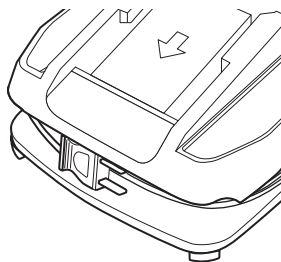
電源コードを乱暴に扱わない。

- ・電源コードを持って充電器を運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから抜いたり、巻き取ったコードを無理に引っ張ってほどこないでください。
- ・電源コードを熱・油・角のとがったところに近づけないでください。
- ・電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
- ・充電器を充電工具のケースへ収納する際には、はさみ込みに注意してください。感電や短絡（ショート）して発火するおそれがあります。

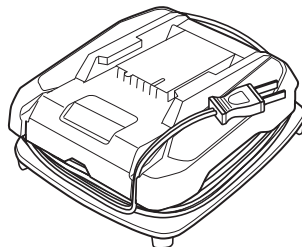
- 1** 本体側面の溝に沿って電源コードを巻きつけてください。その際に無理に電源コードを引っ張ったりしないでください。



- 2** 電源プラグおよび電源コードの固定方法は2通りあります。巻き取った際の電源プラグの位置によって、お好みの方法で固定して収納してください。



本体前面の奥のスペースに入り込ませる

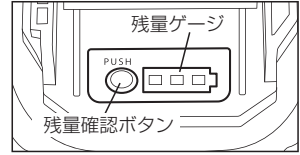



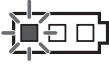



本体背面の電源コード固定部を通す

電池残量表示について (JP-L91850A)

本機は充電中と充電工具の運転中を除き、いつでも電池残量を確認することができます。

- ①電池残量を確認したい時（充電中または充電工具運転中以外）に、残量確認ボタンを押してください。
- ②その時の電池残量に応じて、残量ゲージが点灯します。



	電池残量 0%	電池残量 約0~10%	電池残量 約10~40%	電池残量 約40~70%	電池残量 約70~100%
電池残量の 表示方法	 全て消灯	 1個 点滅	 1個 点灯	 2個 点灯	 3個 点灯

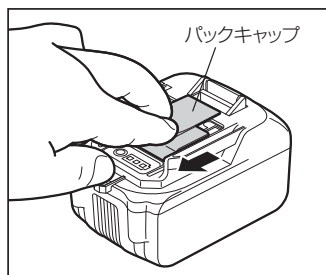
ご注意

- 充電終了直後や工具の運転直後は、残量確認ボタンを押しても残量が正しく表示されません。
- 残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。
- 表示される残量表示は、残量表示機能のある機械側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。
- 表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。
- 満充電完了前に電池パックを充電器から抜くと、1秒程度残量ゲージが点灯することがありますが、故障ではありません。
- 電池パックの端子が濡れた状態で残量確認ボタンを押すと、残量ゲージが左から右へ流れ点灯します。この表示となった時には必ずしっかり乾燥させてから使用を再開してください。

電池パックを長持ちさせるために(保管方法)

⚠ 警告

- 使用後は、本機から電池パックを取り外し、短絡(ショート)防止用のパックキャップを電池パック端子部にかぶせて保管する。



⚠ 注意

- 工具を使用した直後の電池パックは、放熱させてから充電する。
すぐに充電すると電池パックの寿命が短くなります。
- 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのはやめ、充電する。
無理して使いつづけると電池パックが傷み、寿命が短くなります。
- 夏季の自動車の車内や直射日光の当たる場所に放置・保管しない。
高温の場所に放置しますと電池パックの劣化の原因になります。理想的な保存環境は10℃～30℃の乾燥した暗所です。
- 使い切った状態のまま電池パックを保管しない。
充電が空の状態でも長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。
使い終わったらすぐ充電してください。
- 電池パックを本機や充電器に装着したまま保管しない。
微弱な電流が流れつづけて、そのままにしておくと過放電状態になり電池パックの故障の原因になります。必ず電池パックを外して保管してください。

電池パックの寿命について

正しく充電しても結束回数が著しく低下した場合には、電池寿命がきたものとお考えいただき新しい電池パックをお買い求めください。

リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池同梱品を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

- 必ずパックキャップをかぶせる。
- リチウムイオン電池を輸送する場合には、個々の電池が触れないように分けて強固な包装で梱包する。
- リチウムイオン電池同梱製品を輸送する場合には、付属のキャリングケースに入れる。
- 輸送会社・航空会社に相談の上、適切な輸送方法で輸送する。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄のマックス販売拠点・マックスエンジニアリングサービス(株)へお持ちください。環境の保全と資源リサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

- 電池パックは短絡(ショート)防止のため、端子部(金属部)に必ずパックキャップをかぶせ(絶縁テープを巻いて)リサイクルに出す。



Li-ion

リチウムイオン
電池はリサイクルへ

使用前の準備・点検

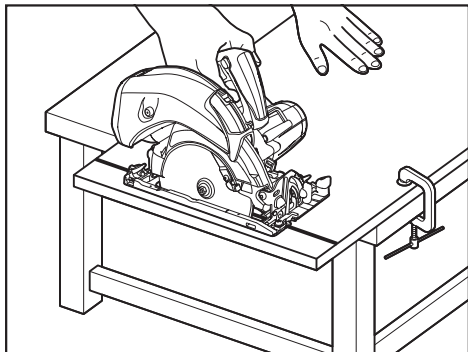
使用前の準備

●作業場に関して

作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●作業台を用意します。

- のこ刃が材料の下面より出ますので、材料は作業台の上に置いて切断してください。
- 材料の切り残り側を、しっかり押えてください。材料の切り残り側を、バイスなどでしっかり固定し押さえれば、両手で作業することができます。



⚠ 警告

- 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設ける。
のこ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
- 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設ける。
また、切り落とした材料がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、のこ刃の出しろの3倍以上にする。
このような台がないと、けがの原因になります。

のこ刃 (チップソー) の取り付け、取り外し方

⚠ 警告

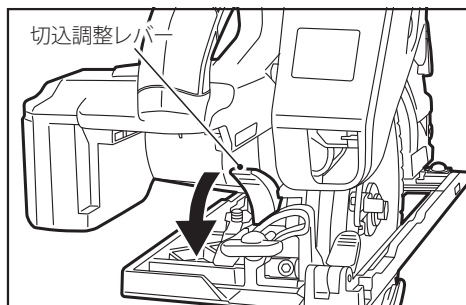
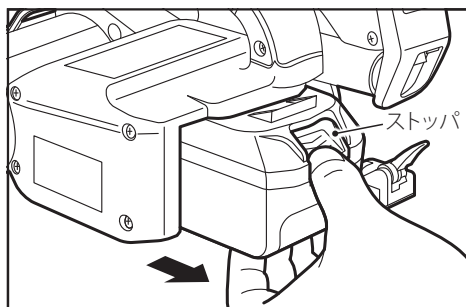
- のこ刃の取付け、取外しの際は、必ずスイッチを切り、電池パックを外す。
電池パックを差したまま行くと、事故の原因になります。
- のこ刃の取付け、取外しの際は、安定した台や床の上で行う。

⚠ 注意

- のこ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用する。
のこ刃が破損し、けがの原因になります。
- のこ刃を取付ける時は、本機 (セフティカバー) に付いている矢印とのこ刃に付いている矢印の方向を合わせる。
矢印に合わせないとこの刃の回転方向が逆回転になり、刃先を痛めたり、けがの原因になります。
- のこ刃の着脱で付属の六角棒スパナ以外の工具は使用しない。
締め過ぎや、締め付け不足となり、けがの原因になります。

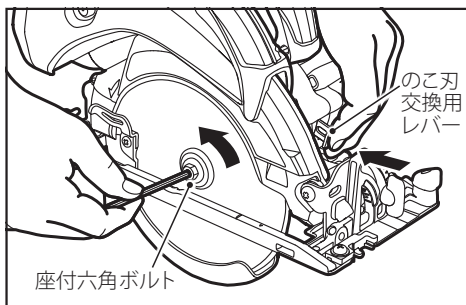
〈取外し方〉

- ①電池パックを外します。
ストッパを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取外してください。
- ②切り込み深さを最大 (深く) にします。
切込調整レバーをゆるめ、切り込み深さを最大 (深く) にし、切込調整レバーを締め付けます。



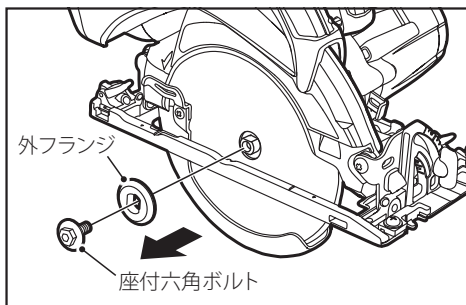
③ のこ刃の軸を固定します。

のこ刃交換用レバーを押し込みながら、付属の六角棒スパナ5で座付六角ボルトを反時計方向（左回転）に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。（この状態でのこ刃の軸が固定されます）



④ ボルトを外します。

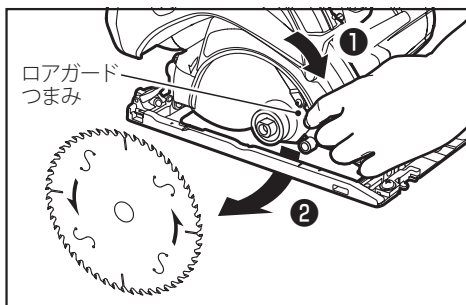
のこ刃の回転が止まった状態で更に六角棒スパナ5を反時計方向（左回転）に回し、座付六角ボルトと外フランジを外します。



⑤ のこ刃を取外します。

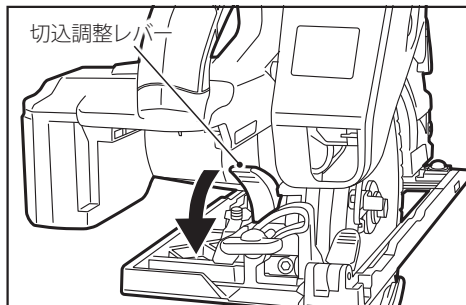
ロアガード（保護カバー）のつまみを持って、ロアガードをいっぱい引き上げた状態でのこ刃を取外します。

※このとき、内フランジが外れることがあります。外れた場合は、内フランジを紛失しないよう保管してください。



《取付け方》

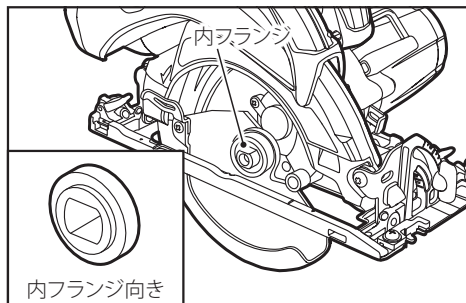
- ①切込み深さを最大（深く）にします。
切込調整レバーをゆるめ、切込み深さを最大（深く）にし、切込調整レバーを締め付けます。



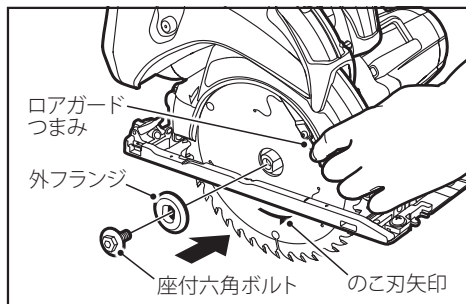
- ②（内フランジが外れている場合）
軸に内フランジを取付けます。内フランジは、20mm径の凸側をのこ刃側に向けて取付けます。

⚠ 注意

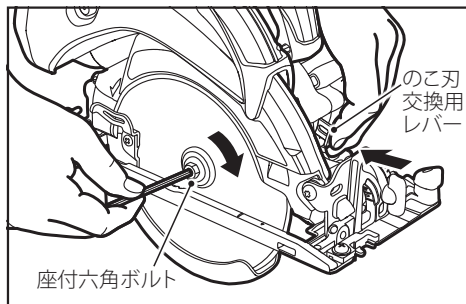
内フランジが外れた場合は、軸ベアリング部に切粉が入らないように注意してください。



- ③のこ刃を取付けます。
ロアガード（保護カバー）のつまみを持って、ロアガードをいっぱい引き上げた状態にします。この状態で、本機セフティカバーに付いている矢印とのこ刃に付いている矢印の方向を合わせ、のこ刃を内フランジの上に取り付けます。外フランジの凹をのこ刃側にして取付けます。



- ④ボルトを締め付けます。
のこ刃交換用レバーを押し込み、のこ刃軸を固定し、六角棒スパナ5で座付六角ボルトを時計方向（右回転）にしっかり締め付けます。



⚠ 警告

のこ刃を締め付けた後、のこ刃交換用レバーが元の位置に戻っていることを確認する。
のこ刃交換用レバーが元の位置に戻り、のこ刃が円滑に回転することを確認してください。

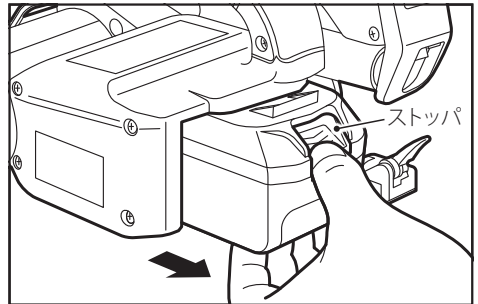
使用前の点検

⚠ 警告

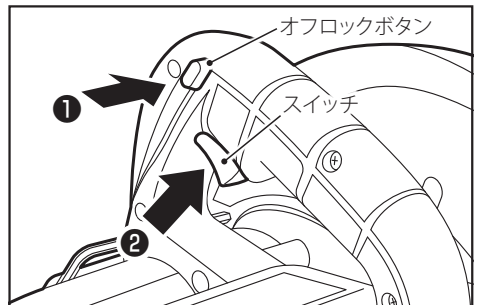
- 使用前に次のことを確認する。
 - ②～⑤については、必ずスイッチを切り、電池パックを外す。
- 電池パックを本機に取付け、取外しをするときは、スイッチに指をかけない。

①電池パックを取外します。

ストッパを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取外してください。

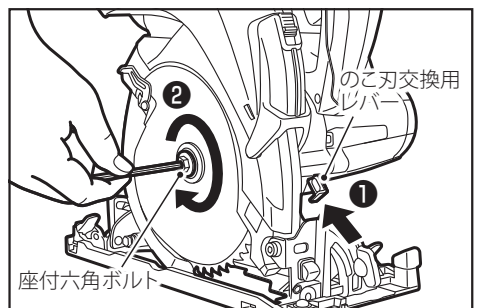


- #### ②オフロックボタンを解除してスイッチを入れ、円滑に動作することを確認します。
- ※オフロックボタンが解除され、スイッチが入った状態で電池パックを差込むと不意に作動しだし、思わぬけがの原因になります。



③のこ刃の締め付けを確認します。

- ①のこ刃交換用レバーを押し込みます。
- ②付属の六角棒スパナ5で座付六角ボルトを時計方向に回すと、のこ刃の回転が止まる位置があります。その状態のまま締め付けてください。



⚠ 警告

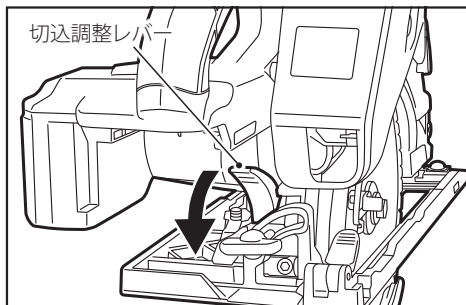
のこ刃を締め付けた後、のこ刃交換用レバーが元の位置に戻っていることを確認する。のこ刃交換用レバーが元の位置に戻り、のこ刃が円滑に回転することを確認してください。

使用前の点検 (つづき)

- ④ 切込調整レバー、前後の角度調整ボルトの締め付けを確認します。

警告

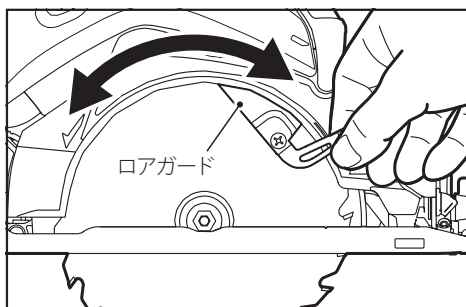
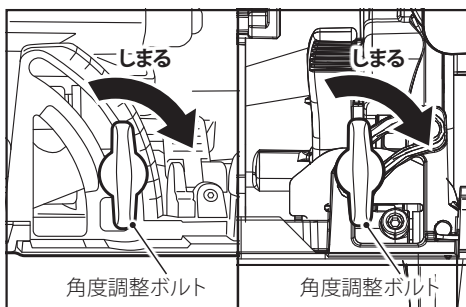
切込調整レバー、前後の角度調整ボルトが十分締まっていることを確認する。
レバーやボルトがゆるんでいるとけがの原因になります。



- ⑤ ロアガード (保護カバー) の動きを確認します。

警告

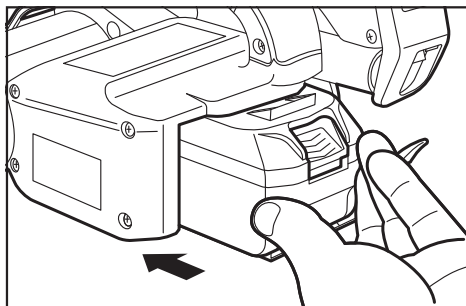
ロアガード (保護カバー) は、絶対に固定しない、取外さない。また、円滑に動くことを確認する。のこ刃が露出したままですとけがの原因になります。万一ロアガード (保護カバー) が円滑に動かない場合は、直ぐに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらないで、本機の性能回復の為に十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。



- ⑥ 電池パックを取付けます。スイッチが切れていることを確認し、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

警告

- 電池パックを本機に取付け、取外しをするときは、スイッチに指をかけない。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取付けられていることを必ず確認する。不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどのおそれがあります。

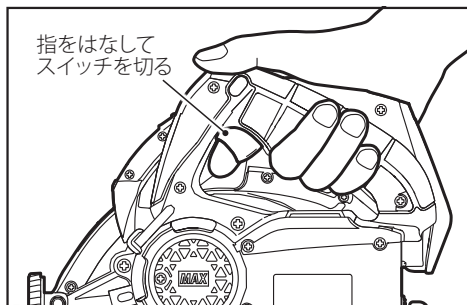


使用前の点検(つづき)

⑦ブレーキがかかることを確認します。

※本機は、スイッチを切ると同時に、この刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。ご使用前にブレーキがかかることを確認してください。

万が一ブレーキがかからない場合は、直ぐに使用を中止してください。修理に際してはご自分で修理をなさらずに本機の性能回復の為に十分な技術と知識を有しているマックスエンジニアリングサービス株式会社へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。



⚠ 注意

ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。
本機を落としたり、けがの原因になります。

ご注意

- 切断砥石は使用できません。
- 木材以外の材料を切断すると、ベース面が傷付きやすくなります。

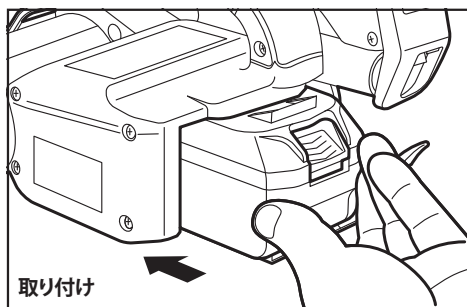
使用方法

電池パックの取付け、取外し方

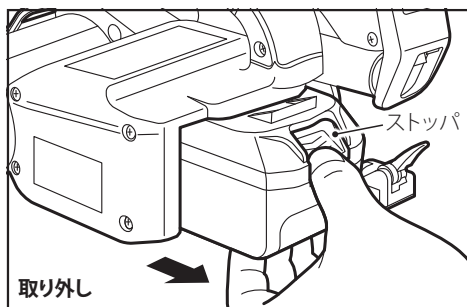
⚠ 警告

- 電池パックを本機に取付け、取外しをするときは、スイッチに指をかけない。
- 使用前には、電池パックが本機に確実に取付けられていることを必ず確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどするおそれがあります。

取付けは、スイッチが切れていることを確認し、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



電池パックを本機から取外すときは、ストッパを押して、矢印方向にまっすぐ電池パックをスライドして取外してください。



ご注意

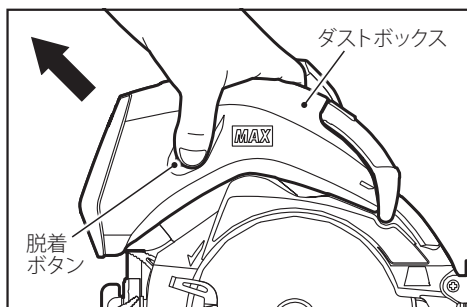
- マックスリチウムイオン電池パック JP-L91440A、JP-L91430A、JP-L914は取付可能ですが、本製品仕様の能力は出ませんのでご注意ください。

通常丸のこととしての使い方 (ダストボックスの取り外し)

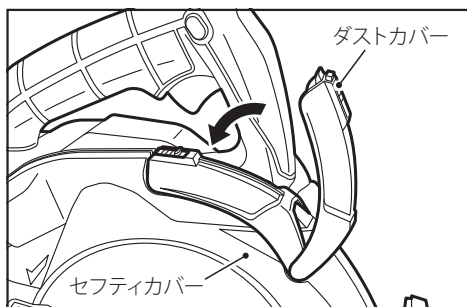
警告

- ダストボックスの取り付け取り外しの際は、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取り外す。
不意な始動によるけがの原因になります。
- ダストカバーが開いた状態、外れた状態で使用しない。
けがの原因になります。

- ①ダストボックスの脱着ボタンを押したまま、ダストボックスを矢印方向に取り外します。

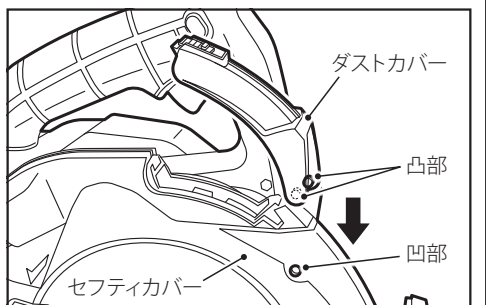


- ②ダストカバーを閉じます。この時、ダストカバーを軽く引っ張り、セフティカバーに固定されていることを確認してください。ダストカバーがセフティカバーに固定されると通常丸のこととして使用できます。



ダストカバーが外れた場合

ダストカバーを開いた状態で強い力が加わるとダストカバーが外れることがあります。外れた場合は、セフティカバーの凹部にダストカバーの凸部をはめ込んで取付けてください。

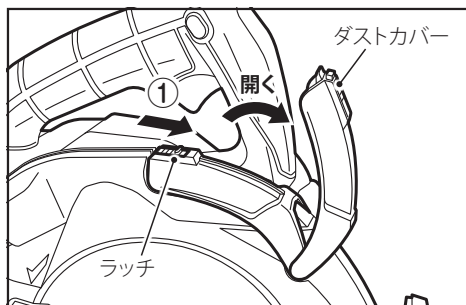


防じん丸のことしての使い方 (ダストボックスの取り付け)

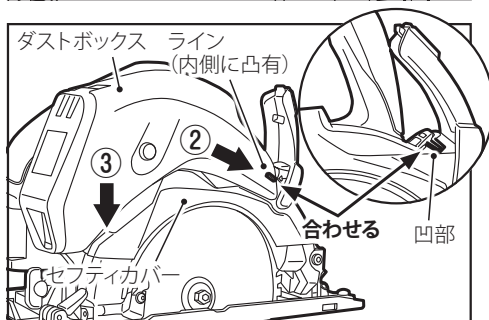
警告

- ダストボックスの取り付け取り外しの際は、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取り外す。
不意な始動によるけがの原因になります。
- ダストカバーが開いた状態、外れた状態で使用しない。
けがの原因になります。

- ①ダストカバーのラッチを引いてロックを解除し、矢印方向に開きます。

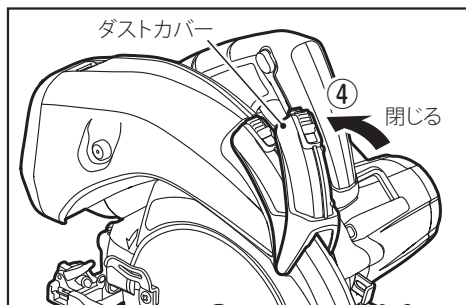


- ②セフティカバーの凹部にダストボックスの先端内側の凸部を合わせて差し込みます。凸部の位置は、ダストボックス先端のラインを目安にしてください。



- ③ダストボックスを下方方向に抑えて取り付けます。この時ダストボックスを軽く引っ張り、本体に固定されていることを確認してください。

- ④ダストカバーを閉じます。
この時ダストカバーを軽く引っ張り、ダストボックスに固定されていることを確認してください。ダストカバーが閉じられない場合は、ダストボックスが正しい位置に取り付けられていませんので、ダストボックスを再度取り付けなおしてください。



ダストカバーが確実に閉じられると、防じん丸のことして使用できます。

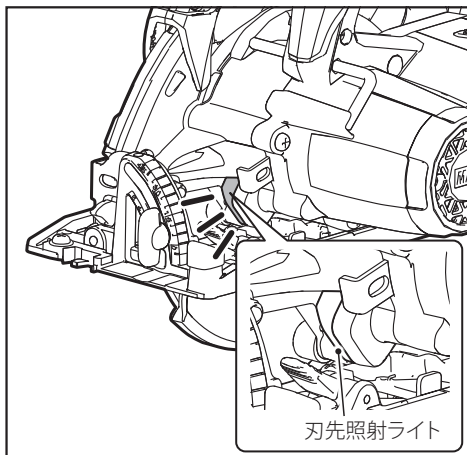
刃先照射ライトについて

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞき込んだり、ライトの光を直接目に当てない。
ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

スイッチは、ライトスイッチを兼ねており、スイッチを引くとライトが点灯し、のこ刃刃先を照らします。

- オフロックボタンを手前に引きながらスイッチを引くとライト点灯と同時に本機も作動します。



ご注意

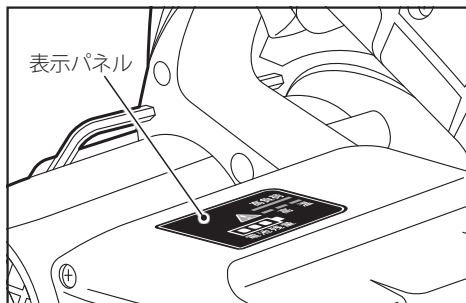
- ライトのレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないよう注意してください。ライトのレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ライトのレンズ掃除の際は、ガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。

⚠ 警告

ライトレンズ掃除の際は、必ずスイッチを切り、電池パックを外す。
電池パックを差したまま行くと、事故の原因になります。


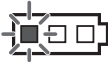



表示パネルについて

本機の表示パネルでは、電池残量と警告が表示されます。



〈電池残量表示ランプ〉

スイッチを引くと、その時の電池残量に応じて点灯または点滅します。

	電池残量 0%	電池残量 約0~10%	電池残量 約10~40%	電池残量 約40~70%	電池残量 約70~100%
電池残量の 表示方法	 全て消灯	 1個 点滅	 1個 点灯	 2個 点灯	 3個 点灯

ご注意

- 残量表示はあくまで目安です。作業負荷や周囲温度によって残量が正しく表示されない場合がありますが故障ではありません。
- 表示される残量表示は、電池パック側の残量表示と同じ表示にはなりません。あくまで目安とお考えください。
- 表示される電池残量は、満充電完了した時に充電された容量を基準にしています。例えば、新品の電池パックと長期間の使用等により劣化した電池パックを比較した場合、同じ30%の電池残量であっても、そこからの作業量は異なります。

〈警告ランプ〉

高温エラー時または過負荷状態時に点灯または点滅します。

●高温エラー

電池パックまたは本体が高温になると、保護のため停止し、警告ランプが点滅します。その場合は、本体と電池パックをしばらく休ませ、十分放熱させてから使用を再開してください。



●過負荷状態

材料の材質特性、厚み、硬さの組み合わせによって負荷が高い状態のときに警告ランプが点灯します。その場合は、強く押し付けず、適度な押し付けで作業を行ってください。



ご注意

- 高温エラーや過負荷作業のため保護停止（ロック）した場合、本体と電池パックの保護のため、直後から2秒間はスイッチ操作を受け付けません。
- 高温エラー、過負荷状態の警告ランプが繰り返し表示されるような作業は避けてください。
- 電池パックの残量状況により、急激な過負荷が発生した場合、過負荷表示がされず全てのランプが消灯する場合があります。これは過負荷検出より先に電池保護機能が働くことで発生する現象で、故障ではありません。

警告

- 使用前に電池パックが本機に確実に取付けられていることを確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどするおそれがあります。
- 切断中に本機をこじったり、強く押し過ぎたり、バックさせて切断したりしない。
モータに無理がかかるばかりでなく、強い反発力を受け、けがの原因になります。
- ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定しない、取り外さない。また、円滑に動くことを確認する。
のこ刃が露出したままですとけがの原因になります。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電池パックを本体から抜く。
- オフロックボタンは固定しない。また、移動時にはスイッチから指を離す。
不用意にモータが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- のこ刃を上向き、横向きにした使い方は絶対にしない。
けがの原因になります。
- ダストボックスを外したとき、ダストカバーがセフティカバーにはまっていない状態で絶対にスイッチを入れない。
けがの原因になります。
- ダストボックスを付けたとき、ダストカバーが収納位置にはまっていない状態で絶対にスイッチを入れない。
けがの原因になります。

●1回の充電での作業量〈参考値〉

本機の1充電当たりの切断量の参考値です。（切断量は、木材の状態、のこ刃の種類、切れ味、周囲温度、電池パック特性などにより多少異なります）

材料	切断本数
米松（t 55×300mm）	約80カット
パネコート合板（t 12×910mm）	約90カット

※電池パックJP-L91850A、チップソーCS-165W52S使用時

切断作業について (つづき)

ご注意

- 切断を始める前に、のこ刃の回転が最高速になるようにしてください。
- のこ刃のロックなどにより切断を途中で中断したときは、スイッチを切り、必ず最初の切断位置まで本体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。なおこの際、ロック後2秒間はトリガ操作を受け付けません。何度も繰り返してロックを続けると、モータ・スイッチの焼損や電池パックの寿命を著しく短くする原因になります。
- 材料からベース底面が浮き上がった状態で切断しないでください。モータがロックする場合があります。
- 予備の電池パックを用いて本機を連続使用する際は、本機を15分程度休ませてください。予備の電池パックを用いて連続作業を続けるとモータ・スイッチなどの温度が高くなり、焼損の原因になります。
- のこ刃交換用レバー (P26参照) はのこ刃軸を固定するものです。モータ運転中は絶対に押さないでください。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、本体と電池パックを十分休ませ、放熱させてから使用を再開してください。
- 切断作業上の注意
1回の充電による切断量を増やすには
 - 切断する時以外の運転 (無負荷運転) は少なくしてください。
 - 切断中に本体をこじったり、強く押ししたりして、モータに無理をかけないでください。
 - 切れ味の悪くなったのこ刃は使用しないでください。

注意

予備の電池パックを用いて本機を連続使用する際は、本機を15分程度休ませて使用する。電池パック交換後すぐに作業を続けるとモータ、スイッチなどの温度が高くなり、焼損の原因になります。

直角に切断する

警告

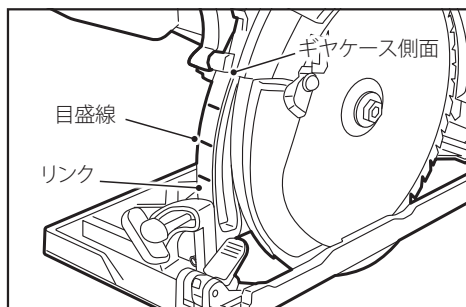
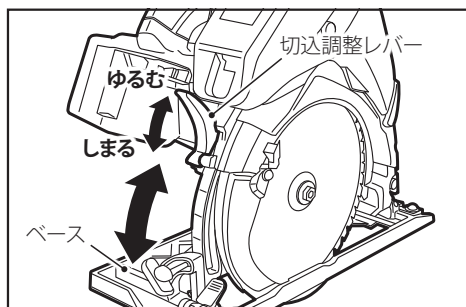
- 万一の事故を防止するために①の操作はスイッチを切り、電池パックを本体から抜いた状態で調整する。
- 使用前に電池パックが本機に確実に取付けられていることを確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどのおそれがあります。
- 調整後、切込調整レバーを十分に締め付け、ベースがしっかり固定されていることを確認する。
ベースがしっかり固定されていない不完全な状態のまま使用しますとけがの原因になります。

①切込み深さを調整します。

切込み深さ調整は、切込調整レバーをゆるめて、材料の厚さに合わせてベースを上下させて調整してください。調整後は、切込調整レバーをしっかりと締め付けてください。

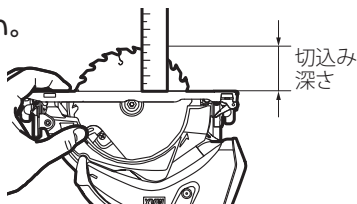
※切断部材の厚みに合わせた切込み深さを設定することで最適な集じん効果が得られます。切込み深さ最大で薄い部材を切断すると集じん率が低下します。

- リンクにはのこ刃外径165mm用の目盛りが付いています。ベースとのこ刃が直角の時は、この目盛りを赤い目印に合わせることでおおよその切込み深さが調整できます。目盛線は、1mmごとに付いています。



ご注意

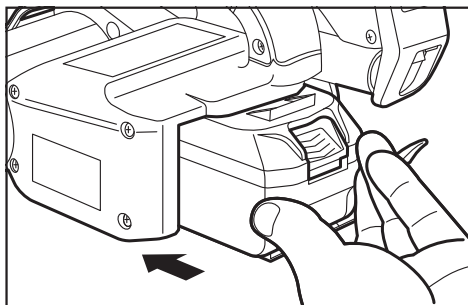
- 材料が薄いときは、切込み深さを浅くしてお使いください。
- 正確に切込み深さを調整するときは、のこ刃の出量を実測してください。なお、ベースとのこ刃を傾斜させているときは、この目盛線は使えません。



切断作業について (つづき)

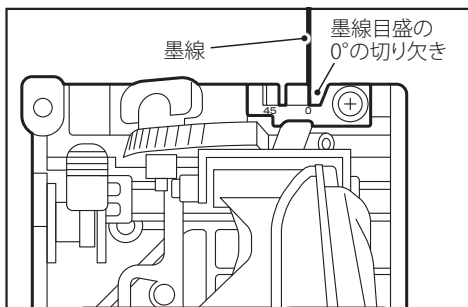
② 電池パックを取付けます。

スイッチが切れていることを確認し、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



③ 墨線に合わせます。

材料の上に本機(ベース)をのせ、ベース先端を材料に密着させて、ベース前部の墨線目盛の0°の切り欠き部を墨線に合わせます。

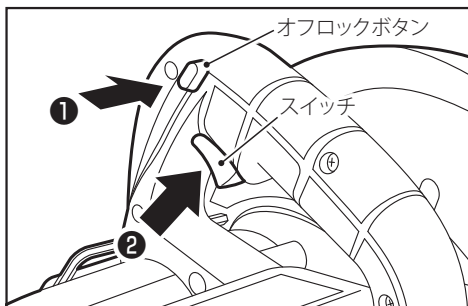


④ 切断を開始します。

本機をしっかりと保持し、オフロックボタンを押しながら、のこ刃が材料に触れていない状態でスイッチを引いてのこ刃を回転させます。

のこ刃の回転が上がり、一定回転になりましたら墨線をなぞるようにゆっくり前方に進め、切り終わるまでこの状態を保つようにしてください。

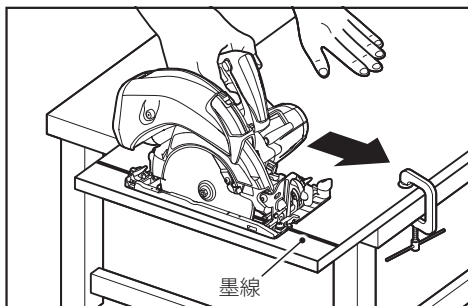
- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐ進めてください。



⑤ 切断を終わります。

切り終わったらスイッチから指を離してOFFにし、のこ刃の回転が完全に止まってから、本機を持ち上げるようにしてください。

- 再度同じ切込み深さで作業する場合は、③からの作業を繰り返してください。



傾斜(右傾斜)で切断する(0~45°)

警告

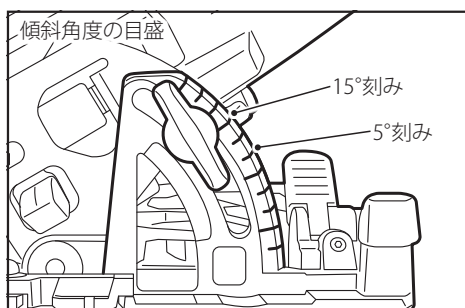
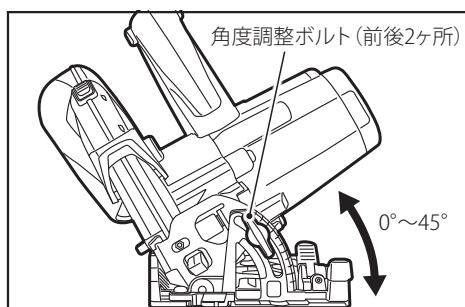
- 万一の事故を防止するために①、②の操作はスイッチを切り、電池パックを本体から抜いた状態で調整する。
- 使用前に電池パックが本機に確実に取付けられていることを確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどするおそれがあります。
- 調整後、角度調整ボルトを十分に締め付け、ベースがしっかり固定されていることを確認する。
ベースがしっかり固定されていない不完全な状態のまま使用しますとけがの原因になります。

① 傾斜角度を調整します。

前後の角度調整ボルトをゆるめ傾斜角度を調整します。

傾斜角度を決めたら必ず前後の角度調整ボルトをしっかりと締め付けてください。

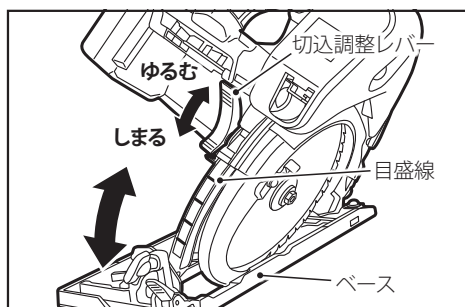
- のこ刃をベースに対して0~45°まで傾けることができます。
- 傾斜角度の目盛は、前方の角度調整ボルト締め付部のベース前側に15°刻み、側面に5°刻みの目盛がついています。
- 正確な角度で切断したい場合は、ベースとのこ刃の角度を定規で測定してください。



② 切込み深さを調整します。

切込調整レバーをゆるめ、材料の厚さに合わせてベースを上下させて調整し、切込調整レバーを締め付けてベースを固定します。調整後は、切込調整レバーをしっかりと締め付けてください。

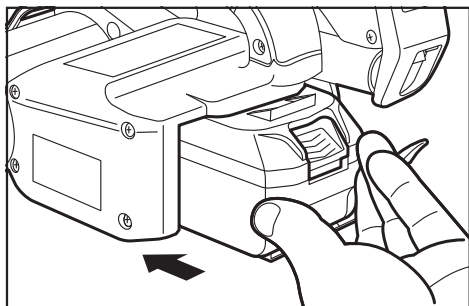
※切断部材の厚みに合わせた切込み深さを設定することで最適な集じん効果が得られます。切込み深さ最大で薄い部材を切断すると集じん率が低下します。



切断作業について (つづき)

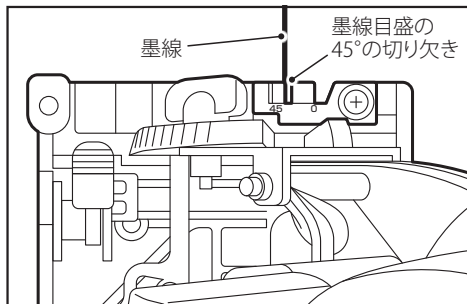
③ 電池パックを取付けます。

スイッチが切れていることを確認し、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



④ 墨線に合わせます。

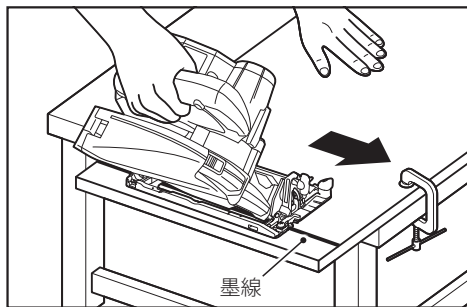
45° 切断の場合、材料の上に本機（ベース）をのせ、ベース前部の墨線目盛の45°の切り欠き部を墨線に合わせます。



⑤ 切断を開始します。

本機をしっかりと保持し、オフロックボタンを押しながらのこ刃が材料に触れていない状態でスイッチを引いてのこ刃を回転させます。のこ刃の回転が上がり、一定回転になりましたら墨線をなぞるようにゆっくり前方に進め、切り終わるまでこの状態を保つようにしてください。

- ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐ進めてください。



⑥ 切断を終わります。

切り終わったらスイッチから指を離してOFFにし、のこ刃の回転が完全に止まってから、本機を持ち上げるようにしてください。

- 再度同じ切込み深さで作業する場合は、④からの作業を繰り返してください。

ご注意

- リンクについている目盛線は、傾斜切断のときは使えません。切込み深さを調整する時は、のこ刃の切込み深さを実測してください。

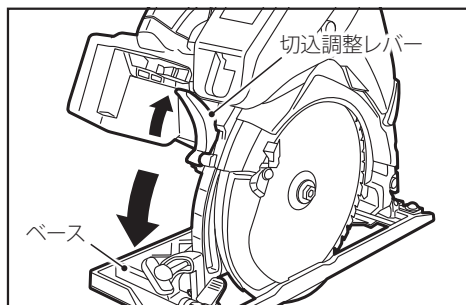
逆傾斜で切断する(0~5°)

警告

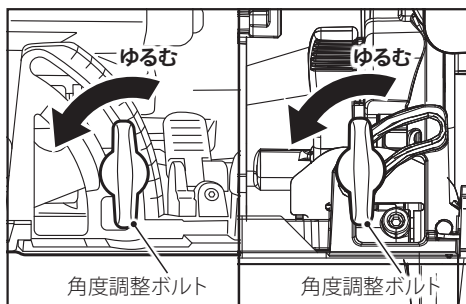
- 万一の事故を防止するために①~⑤の操作はスイッチを切り、電池パックを本体から抜いた状態で調整する。
- 使用前に電池パックが本機に確実に取付けられていることを確認する。
不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下してけがなどするおそれがあります。
- 調整後、角度調整ボルトを十分に締め付け、ベースがしっかり固定されていることを確認する。
ベースがしっかり固定されていない不完全な状態のまま使用しますとけがの原因になります。

①切込み深さを浅くします。

切込調整レバーをゆるめてベースを一番下まで下げ、切込調整レバーをしっかりと締め付けます。



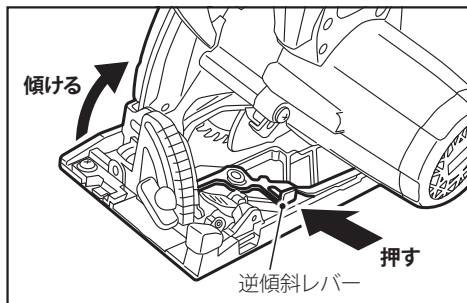
②前後の角度調整ボルトをゆるめます。



切断作業について (つづき)

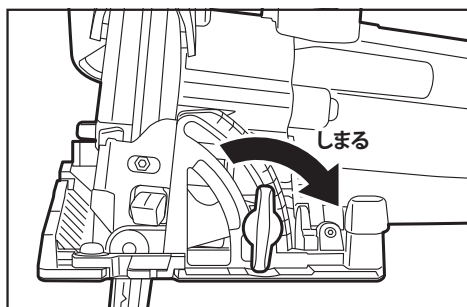
③ 逆傾斜 (左傾斜) にします。

逆傾斜レバーをこの刃 (チップソー) 方向へ押し込み、押し込んだ状態のまま、本体を左側へ傾けてください。(左傾斜になります)



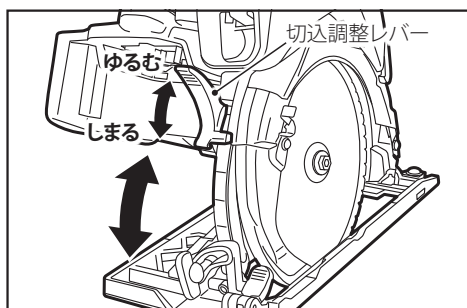
④ 前後の角度調整ボルトを締め付けます。

左傾斜の状態でベースを保持しながら角度調整ボルトを締め付けると (ベースが動かず) 上手に設定できます。



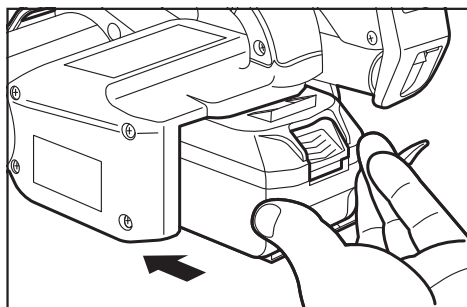
⑤ 切込み深さを調整します。

切込調整レバーをゆるめて、切込み深さを調整し、切込調整レバーを締め付けます。切込み深さを0~61mmの間にのこ刃出量を実測して調整してください。調整後は、切込調整レバーをしっかり締め付けてください。



⑥ 電池パックを取付けます。

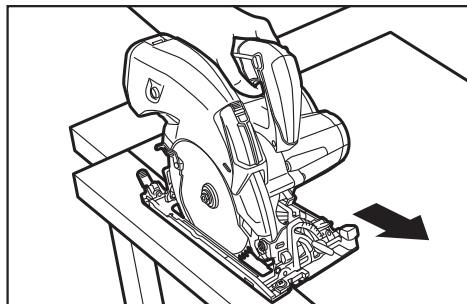
スイッチが切れていることを確認し、電池パックの溝を本機の溝に合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。



切断作業について(つづき)

⑦切断を開始します。

本機をしっかり保持し、オフロックボタンを押しながらのこ刃が材料に触れていない状態でスイッチを引いて、のこ刃を回転させます。のこ刃の回転が上がり一定回転になりましたら墨線をなぞるようにゆっくり前方に進め、切り終わるまでこの状態を保つようにしてください。



⑧切断を終わります。

切り終わったらスイッチから指を離してOFFにし、のこ刃の回転が完全に止まってから、本機を部材から取り出してください。

- 再度同じ切込み深さで作業する場合は、⑦からの作業を繰り返してください。

切粉の捨て方 (防じん丸のこで使用した場合)

⚠ 警告

切粉を捨てる時は、必ずスイッチを切り、電池パックを抜く。
電池パックを差したまま行くと、事故の原因になります。

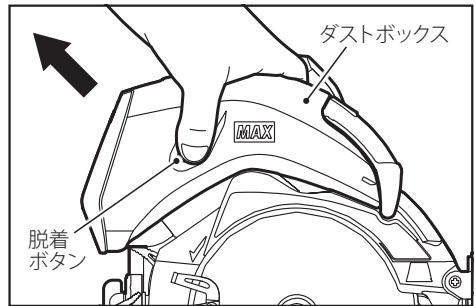
⚠ 注意

- ダストボックスに切粉が満杯のまま使用すると集じん率が低下します。ダストボックス内に切粉が満杯になる前に捨ててください。
- 切粉を捨てる時には本体のモータ部、電池パック取付け部に切粉が入らないようにしてください。
- シンナー・ガソリン・油などの薬品類が付着した材料は、切断しない。
シンナー・ガソリン・油などの薬品類がダストボックスに付着すると、ひび割れなどをするおそれがあり、けがの原因になります。

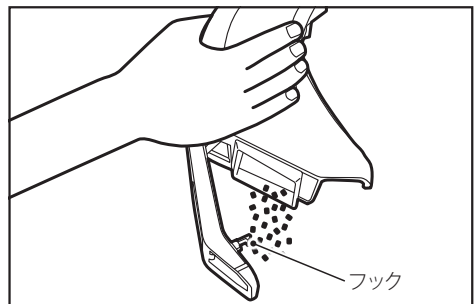
本機には、切粉を集じんするダストボックスを装備しています。ダストボックス内に切粉が溜まりましたらこまめに切粉を捨ててください。

①ダストボックスを外します。

ダストボックス中央のボタンを押したまま、ダストボックスを斜め後方側に持ち上げながら外します。



- #### ②ダストボックス後方の切粉排出カバー下側にあるフックを押して切粉排出カバーを開き、本体後方を下にして切粉を捨ててください。



- #### ③切粉を捨て終わったら切粉排出カバーを閉じてフックをかけてください。

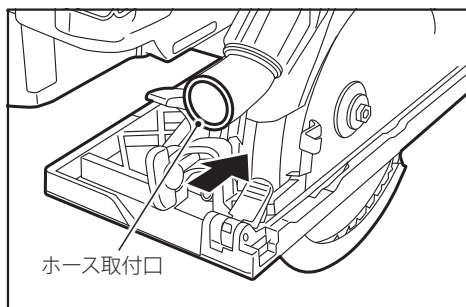
※本体に取付けた状態でも切粉を捨てられます。

集じん機 (市販品) に接続する使い方

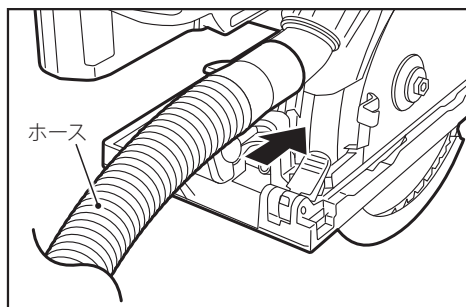
⚠ 警告

- 本体を集じん機に接続する際は、必ずスイッチを切り、電池パックを本体から外す。
思わぬ事故のもとになります。
- 集じん機の使用方法、集じんできる切粉などについては、集じん機の取扱説明書の指示に従う。

- ① ダストボックスを外します。(P46参照)



- ② 集じん機に付属されているホースを
ホース取付口に差し込みます。
ホース取付口の外径はφ25mmです。



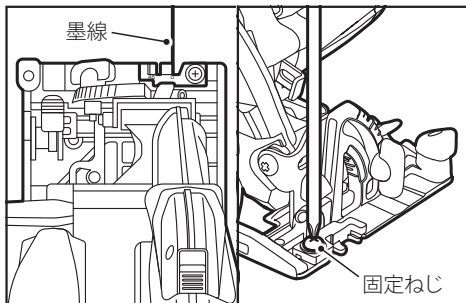
各種調整方法について

警告

調整の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、本体から電池パックを外した状態で行う。

● 墨線目盛の微調整方法

墨線目盛の取付け位置を微調整できます。工場出荷の際には、墨線目盛の切り欠き部の直線部分をのこ刃の側面に合わせてありますが、万一取付け位置が狂っている場合は、+ドライバーで墨線目盛の固定ねじをゆるめ、左右に動かして、位置を調整してください。

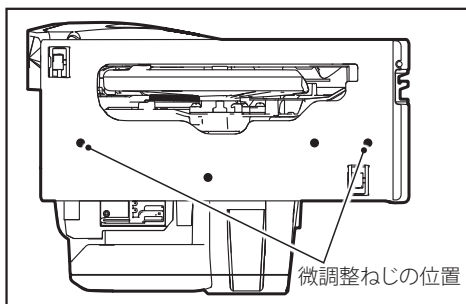
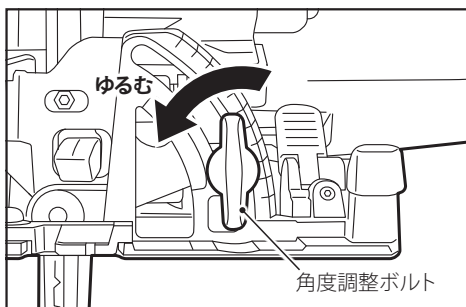


● 直角度の微調整方法

直角度（ベースとのこ刃の角度）を微調整できます。

工場出荷の際には、0度位置に調整してありますが、万一、角度が狂っている場合は次のように調整してください。

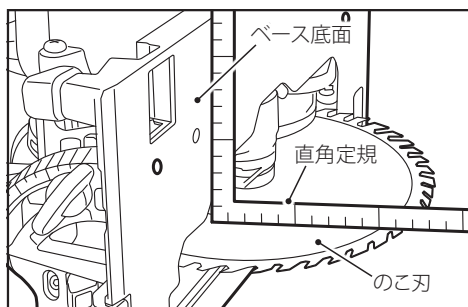
- ① 前後の角度調整ボルトをゆるめます。



- ②お手持ちの六角棒スパナ (2.5mm) で
微調整ねじをゆるめます。



- ③ベース底面とのこ刃に直角定規を当てて
直角になったところで角度調整ボルトを
しっかり締め付けます。



- ④微調整ねじを回し、ベースの金属製部品
に当たったところで止めます。

- ⑤再度のこ刃とベース底面に直角定規を
当てて、直角になっていることを確認して
ください。

●平行度の微調整方法

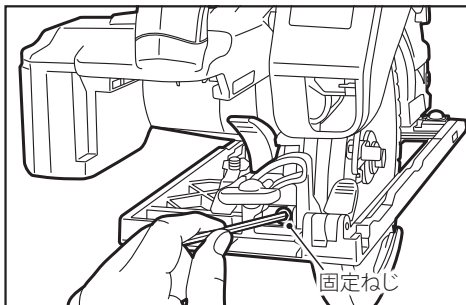
ベース側面とのこ刃の平行度を微調整できます。

工場出荷の際には、調整してありますが、万一、平行度が狂っている場合は次のように調整してください。

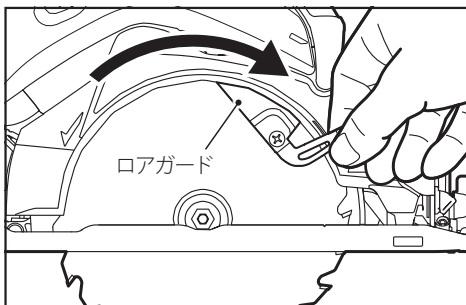
⚠ 注意

- 平行度調整後、切込み深さ調整を行うと、平行度が若干狂う場合があります。切込み深さ調整後、平行度の調整を行ってください。
- 切込調整レバーと角度調整ボルトは締め付けた状態で調整します。

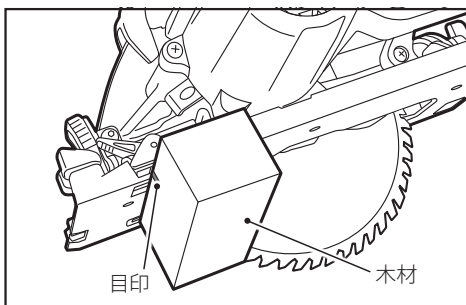
- ① ベースリンク部の固定ねじをお手持ちの六角棒スパナ (2.5mm) でゆるめます。



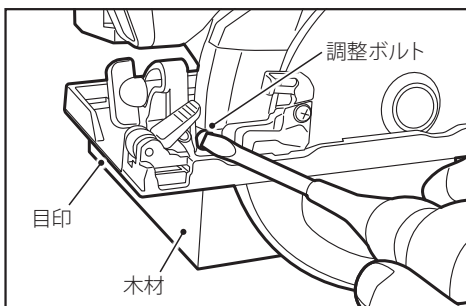
- ② ロアガード (保護カバー) をセフティカバーの中に引き込みます。



- ③ この刃のベース前方側に木片を当てて、ベース側面位置に目印を付けます。



- ④ 目印を付けた木片をベース後方側に移動し、調整ボルトをードライバで回して、目印がベース側面に合うようにします。



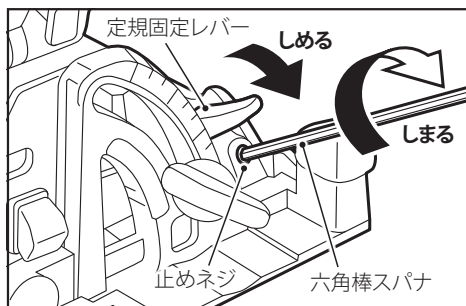
- ⑤ 調整後、固定ねじをしっかりと締め付けます。

●定規の固定がゆるくなった場合

止めネジを六角棒スパナ (2.5mm:市販品を使用してください。) で締めてください。固定力を調整することができます。

※一度に締めすぎないでください。

※定規固定レバーを閉めた状態で行なってください。



作業中、本機が急に停止したら

本製品には、リチウムイオン電池を長く使用していただくために下記のとときには制御回路が働いて工具が自動停止しますが、これは故障ではありません。

- 電池パックの残量が少なくなったとき：電池残量表示ランプが点滅します
このときは、速やかに充電してください。
- 電池パックおよび本体が高温になったとき：警告ランプが点滅します
このときは本機と電池パックをしばらく休ませ、十分放熱させてから使用を再開してください。
- 本体が過負荷状態（のこ刃がロックするなど）になったとき：警告ランプが点灯します
このときは、いったんスイッチを離し、過負荷の原因を取り除いてください。過負荷の条件を取り除けば再びご使用になれます。

警告

残量が少なくなった電池をそのまま放置しない。

電池パックの電気が空の状態です長時間放置すると電池パックの故障の原因になります。
残量が少なくなったら、そのまま放置せず充電してください。

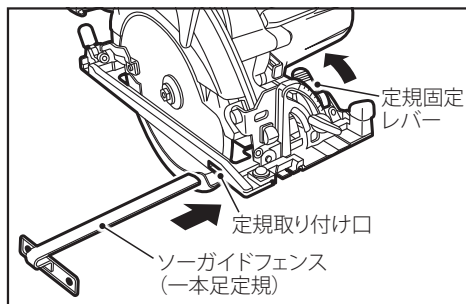
別売品について

ソーガイドフェンス（一本足平行定規）

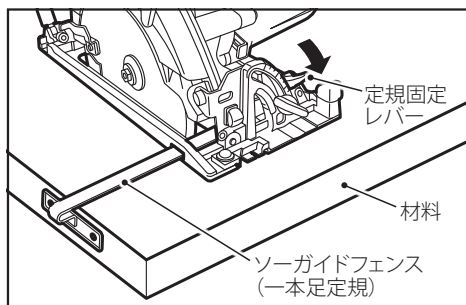
ソーガイドフェンス（一本足平行定規）の使い方

ソーガイドフェンスは、一定の幅で部材を切断したいときに使用します。

- ①ソーガイドフェンスを取付けます。
ベースの前部にある定規固定レバーをゆるめ、定規取り付け口にソーガイドフェンスを差込んでください。



- ②切断位置を調整します。
ソーガイドフェンスを左右に動かして、切断位置を調整してください。切断位置が決まりましたら定規の側面を材料の側面にぴったりとつけて定規固定レバーをしっかり締めつけてください。



ベースシートの貼付方法

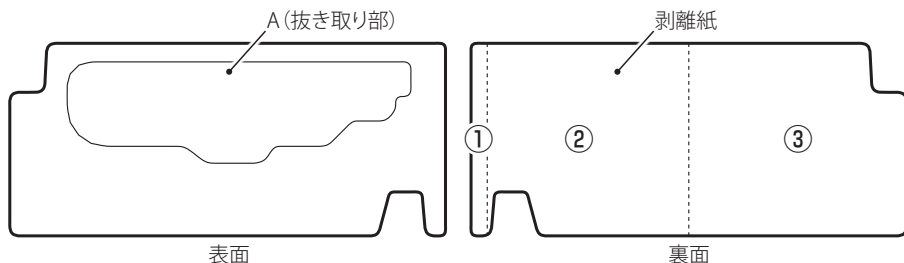


警告

- ベースシートを貼り替える際には、必ずスイッチ切り、本体より電池パックを取り外す。不意な始動によるけがの原因になります。

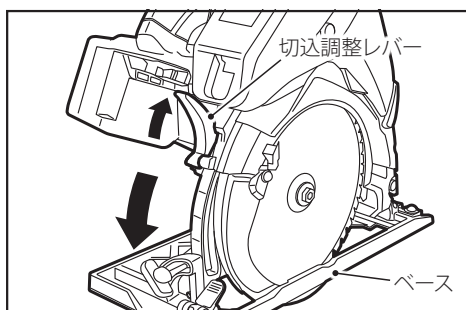
ご注意

- 貼付ける前に、ベース面の汚れを拭き取ってください。
- 古いベースシートを剥がした際に残った接着剤は、アルコールやパーツクリーナーなどで拭き取ってください。シンナーなどを使用するとロアガードなど樹脂部品の割れの原因になります。



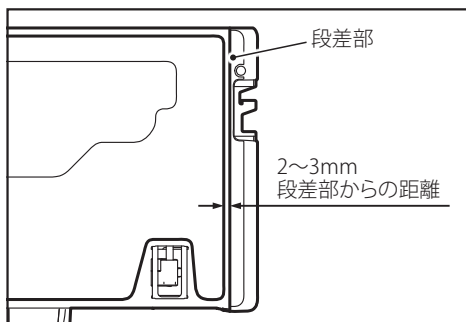
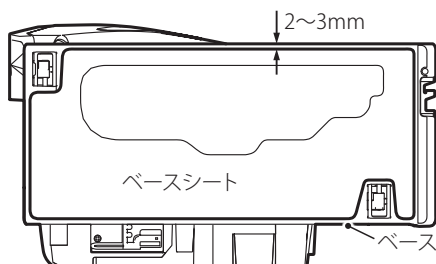
①切込深さを浅くセットします。

ベース面よりロアガード、ノコ刃が出ないように切込深さを最小（切込深さ目盛：0位置）にします。
（切込深さ調整P39参照）



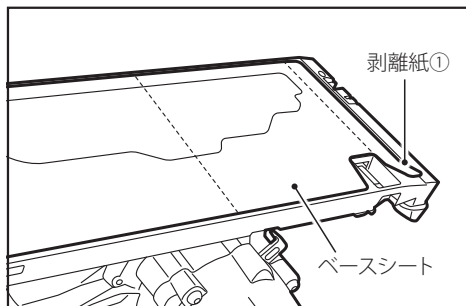
②貼付け位置の確認

ベースの先端部は段差より2~3mm内側、ベースサイドは端から2~3mm内側にベースシートを合わせ、貼付け位置を決めます。



ベースシートの貼付け

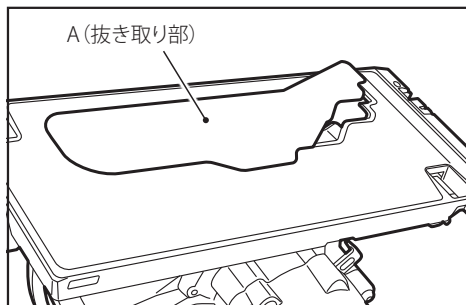
ベースシートを位置決めした状態で、剥離紙①の部分を剥がしてベースとベースシートの上に空気が入らないように注意しながらベースに貼付けます。同様に、剥離紙②、③の順に剥がして貼付けてください。



ご注意

●貼付ける際に、ベースシートを引っ張り過ぎるとシートが伸び、きれいに貼れません。

③ベースシートのA部を切れ目に沿って抜取ります。



ご注意

●ベースシートの周囲および抜き取り部分は、剥がれないようにしっかり押さえてください。

(ベースシートは消耗品です)

- 部分的な剥がれは、カッターナイフなどで切除して使用してください。
- シートは材料に傷を付けないようにするため柔らかい材質を使用しています。使用していると端が延びて、ベース外周からはみ出ることがあります。シートが剥がれる原因になりますので、はみ出した部分は切除してください。
- 下記の場合はシートを交換してください。
 - ①シートが傷ついて滑りが悪くなった。
 - ②剥がれが進行して引っ掛かるようになった。
 - ③被削材に傷がつくようになった。

保守・点検

警告

- 本機の点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電池パックを本体から外す。電池パックを本機に取付けたまま行くと事故の原因になります。
- 充電器の点検・手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

のこ刃の点検

警告

切れ味の悪くなったのこ刃はそのまま使用しない。
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

切れ味が悪くなったまま使用すると、モータに無理がかかり作業の能率も落ちます。また、電池パックの消耗も増え、使用時間が短くなりますので早めに目立てするか、新品と交換してください。

モータ部の取扱い

モータ部の巻線は本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

注意

ゴミやほこりを排出するため、定期的にモータを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング側面の風穴から吹き込んでください。

モータ内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。

各部取付けねじの点検

本機のねじが緩んでいないか点検してください。もし、緩んでいたら締め直してください。

本機の手入れ

本機の掃除にはから拭き、水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を湿らせた布をよく絞ってから表面を拭いてください。ガソリン、テレピン油、ペイント用シンナーなどの薬品は本機を傷めますので使用しないでください。本機内部に液体が入らないように、また、本機を液体に浸けないように十分注意してください。

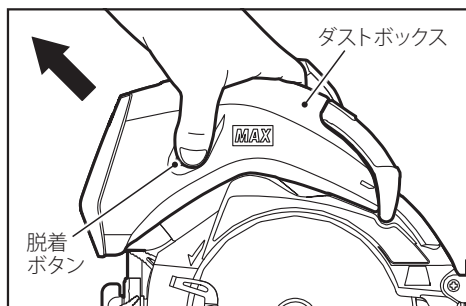
ロアガード(保護カバー)の動作点検と保守

ロアガード(保護カバー)は、いつも円滑に動作するようにしておいてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

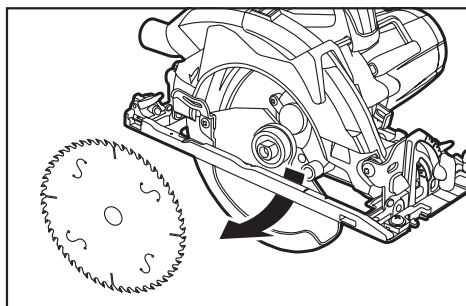
ダストボックスとセフティカバー内側の清掃

切粉などが溜まらないように定期的に点検・清掃してください。

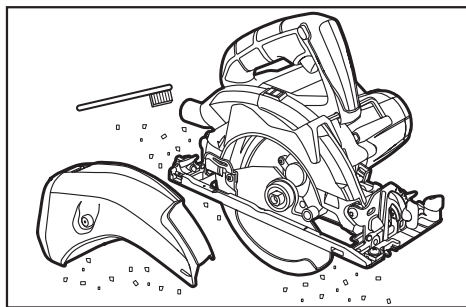
- ①ダストボックス脱着ボタンを押して、
ダストボックスを持ち上げながら外します。



- ②P25「のこ刃(チップソー)の取り付け、
取り外し方」の手順に従い、のこ刃を
取外します。



- ③ダストボックス外側、セフティカバー外側・
内側、ダストカバー周辺に付着した切粉を
清掃してください。



- ④P25「のこ刃(チップソー)の取り付け、取り外し方」の手順に従い、のこ刃を取付け、
逆の手順でダストボックスを組み付けてください。

作業後の保管

- 作業後は、高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下のおそれがある所は避けてください。
- 電池パックを長持ちさせるために、長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、下記のことにご注意して保管してください。

注意

- 充電してから保管する。
- 温度が50℃以上の場所では保管しない。
- 20℃以下の場所では保管しない。
- 直射日光の当たる場所には保管しない。
- 結露するような温度変化の大きい場所での保管はしない。
- 湿度の高い場所に保管しない。
- 水を付着させない。
- 湿度の低い乾燥した場所で保管する。
- 運搬・移動時は落下や大きな振動を与えない。
- 短絡（ショート）を防ぐために金属物に接触させない。
- 電池パックは必ず本機・充電器から取外して保管する。

保証、アフターサービスについて

保証について

- 本機には保証書（外箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
※電池パック、バッグ、のこ刃（チップソー）は消耗品のため保証対象外です。

アフターサービスについて

- 本機の修理、メンテナンス、調整は純正部品を使用して行わなければなりません。
決してご自分で修理なさらないで、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱へ、ご購入の販売店を通じてご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やけがのおそれがあります。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

マックス株式会社

●販売拠点等

本	社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札	支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙	支店	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 236-4121
盛	営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541
東	支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多	営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東	営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千	営業所	〒260-0831	千葉県千葉市中央区港町16-25	TEL (043) 223-5859
群	営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長	営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
新	営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名	支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静	営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大	支店	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10 丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0253
京	営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
神	営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
沖	営業所	〒901-2132	沖縄県浦添市伊祖2-17-1	TEL (098) 875-3577
広	支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福	支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南九州	営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
マックス販売株式会社	本社	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5346
埼玉	営業所	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横	営業所	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金	営業所	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡	営業所	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四	営業所	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
松	営業所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1 白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-3-4	TEL (022) 237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京滋サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大阪サービスステーション	〒550-0014	大阪府大阪市西区北堀江3-9-10 丸一鋼管ビル	TEL (06) 6110-0265
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4102036
190823-00/01

便利メモ

お名前				商品名	PJ-CS61CDP
お買い上げ日	年	月	日	製造番号	
販売店名				☎	